

家庭発展 特別授業「ロシアの人々の生活文化」

9月14日(木)ビクトリア・トルストワ先生(ロシア民族舞踊研究家)と小田 俊博先生(元大阪日口協会)をお招きしてロシアの生活文化について講義をしていただきました。

小田先生は、31年前にロシアへ行かれたことを契機として、地域の小学校や本校はじめ高等学校などで日露交流のための活動に尽力されています。前半は小田先生の31年にわたるロシアとの関わりと、政治的な立場ではなく、人同士のつながりを大切に文化交流の活動をされているビクトリア先生がウクライナ侵攻や兵役について平和への思いを話してくださいました。後半は民族衣装のサラファンやボルシチ、ピロシキについてなど衣食住を中心とした生活文化について写真を交えながら解説していただき、chrome bookを活用した事前学習でロシアについての学びを深めていた生徒達からの質問に答えていただきました。

ビクトリア先生が着用されているのが、民族衣装のサラファン、頭につけておられるのがカチューシャです。

ビクトリア先生のサラファンはウールですが、シルクやコットンなど様々な材料で作られ、施された刺繍にもお守りの意味があるのだとか。踊ったときに足元がわかりやすいよう今回は短いサラファンを着用されていますが、足元の見えないロングタイプなど様々なものがあるそうです。



事前学習としてボルシチ・ブリヌイ(布林チキ)・ロシアンティを調理しました。



最後にロシア民謡に合わせて、ビクトリア先生の指導のもと、全員でダンス。授業の終わりには、感謝の気持ちを込めてロシア風のお辞儀をしながら、ひとりひとり、お礼のお手紙を渡しました。Спасибо(スパシーバ:ありがとう)自分で調べ、ロシア語でお礼のことばを書いている生徒もいました。

遠方より10年以上にわたりお越しいただいていた小田先生ですが、ご高齢のため今年で勇退されます。山田高校の家庭科教育への長年のご協力ありがとうございました。お元気で!